



令和9年度（2027年度）末に  
**めざす状態**  
（施策目標）

環境にやさしいまちを目指す取組が進んでいる

## 施策の主な方向性

### (1) 住宅都市における脱炭素化の実現

#### ① 住宅都市を脱炭素する事業モデルの確立・波及

いこま市民パワー㈱を核としたエネルギーの地産地消と、自治会集会所等を地域住民の交流拠点とするまちのえきを組み合わせ、地域コミュニティの活性化を通じて各家庭の消費エネルギーを削減するとともに、環境にやさしいライフスタイルへの行動変容を図り、効果的に再生可能エネルギーを普及する等、住宅都市の脱炭素化を実現する事業モデルを確立し、市域への波及を図ります。

#### ② 再エネ・省エネの普及促進

再生可能エネルギー発電設備及び蓄電池の普及とともに、いこま市民パワー㈱を通じ、発電された電力を市民・事業者へ供給するエネルギーの地産地消を推進します。公用車のEV<sup>※</sup>化や、エネルギー利用を最適化するエネルギーマネジメントの構築に向けたHEMS<sup>※</sup>等の導入によるエネルギーの見える化を推進します。

#### ③ 住宅の省エネ化に向けた取組の推進

新たに創設された国の多種多様な支援制度への誘導や国の動向に応じた本市支援策の見直し等、住宅の省エネ化に向けて引き続き普及、啓発を図ります。

### (2) 環境負荷低減に向けた取組の推進

#### ① リデュース、リユースの拡充

様々な機会を捉えてリデュース（発生抑制）リユース（繰り返し使う）等の啓発活動を行い、ごみを生まないライフスタイルへの転換を促し、ごみ総排出量の低減につなげます。食品ロスの減少に向け、市民団体や関係機関と連携した取組を推進します。

#### ② 環境負荷の小さいごみ処理の推進

清掃リレーセンター、清掃センター、エコパーク21の3施設について、施設の在り方や処理の効率化・延命化について検討し、実施します。生ごみや剪定枝といったバイオマスの資源化の推進や、地域コミュニティを活用し、ごみを排出しやすい環境整備を進めます。

### (3) 環境活動の支援と環境教育・学習の推進

#### ① 環境活動の支援と環境教育の推進

いこまSDGsアクションネットワークの会員等が企画・実施する環境活動を支援します。子どもや市民に対する環境教育を充実し、理解を深め、関心を高めます。

### 市民や事業者ができることの主な取組イメージ

- 再生可能エネルギー設備・省エネ設備を家庭や事業所に導入する。
- 住宅販売事業者等は長期優良住宅等の省エネ性能の高い住宅を提案する。
- 5R<sup>※</sup>を意識し、ごみの減量と資源化を実践する
- 食品ロスの低減に繋がる取組を実践する。

## 現状と課題

### 現状（取組成果）

- ・ 民生部門の電力消費に伴うCO<sub>2</sub>排出実質ゼロ等の実現を目指す「脱炭素先行地域」に、国から選定され、取組を進めています。
- ・ 太陽光発電、蓄電池等の設備導入を支援する補助事業の実施等、地域の脱炭素化を進めています。
- ・ 環境負荷軽減に向けて、長期優良住宅や低炭素住宅の認定や普及促進に取り組んでいます。
- ・ 食品ロス低減に向けて、フードドライブ<sup>※</sup>に取り組んでいます。
- ・ 清掃センターの延命化・省エネルギー化を進めています。
- ・ 指定ごみ袋のバラ売り（レジ袋への活用）により、レジ袋のリデュースを進めています。
- ・ ごみ減量・資源化の意識啓発や情報提供の担い手となる「こども5Rアドバイザー」の養成を進めています。
- ・ 企業や市民団体、教育機関等の連携による「いこまSDGsアクションネットワーク」を発足し、SDGsの達成や持続可能なまちづくりを推進しています。



### 主な課題

- ・ 脱炭素先行地域の取組の推進に向けて、既存の住宅地を脱炭素化する事業モデルを確立し、市域に展開することで、効果的・効率的な脱炭素化の推進に取り組む必要があります。
- ・ いこま市民パワー㈱を核としたエネルギーの地産地消の実現に向け、公共施設、家庭等への太陽光発電及び蓄電池等のさらなる普及・拡大に取り組む必要があります。
- ・ 国等から新築、改修等で活用できる新たな支援策が創設されているため、市民への支援策の周知・誘導方法の確立や近年の動向に合わせた本市の支援事業等の見直しが必要です。
- ・ 清掃リレーセンターに持ち込まれた不要品の中から状態の良い家具などをリユース品として市民に販売していますが、より多くの市民に利用していただけるICT活用環境づくりが必要です。
- ・ 在宅勤務等のライフスタイルの変化により、ごみの減量が遅れていることが課題です。
- ・ ごみの処理に関する施設を計画的に更新、修繕していくために、今後の施設の在り方についての検討が必要です。

## 参考資料

### 関連する主な分野別計画

生駒市環境基本計画、生駒市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画、生駒市一般廃棄物処理実施計画、生駒市環境モデル都市アクションプラン、生駒市SDGs未来都市計画

### 関連する他施策の主な分野別計画

## 施策の進捗状況を測る代表的な指標

I 【指標名】 市域のCO <sub>2</sub> 排出量		II 【指標名】 住宅の省エネ化率		III 【指標名】 ごみ排出量（t）	
策定時の値	目標値 （令和9年度）	策定時の値	目標値 （令和9年度）	策定時の値	目標値 （令和9年度）
27.55万t-CO <sub>2</sub>	→ 23.26万t-CO <sub>2</sub>	8.2%	→ 12.6%	32,461t	→ 30,367t

※ EV：  
※ HEMS：  
※ いこまSDGsアクションネットワーク  
※ 5R：